

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会 第2回執行委員会

（ 日 時 令和5年1月25日（水）
午後6時～
場 所 大和コミュニティセンター ）

開 会

- 1 委員長あいさつ
- 2 議事
学園の場所について
- 3 説明
協働的な学びの確保 ～小学校の再編について～
- 4 助言

閉 会

【経過】

- (1) 12月14日（水） 第1回執行委員会
- (2) 12月21日（水） 第2回ワークショップ テーマ「学園の場所」
- (3) 1月11日（水） 第1回学校運営部会

【配付資料】



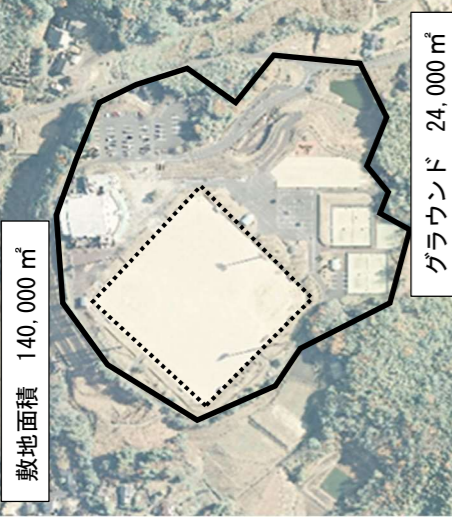
- 資料1 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会執行委員会名簿.....P 1
資料2 第2回ワークショップのまとめ.....P 2
資料3 第1回学校運営部会のまとめ.....P 3
資料4 協働的な学びの確保 ～小学校の再編について～.....P 4
別 冊 施設一体型小中一貫やまと学園の場所について（報告書案）

番号	氏名	区分	所属等	備考
1	槻館 憲靖	学校運営協議会	塩田小学校学校運営協議会会長	
2	國澤 宗厳	学校運営協議会	三輪小学校学校運営協議会会長	
3	堅多 敦之	学校運営協議会	岩田小学校学校運営協議会会長	
4	大富 哲也	学校運営協議会	束荷小学校学校運営協議会会長	
5	的井 勝巳	学校運営協議会	大和中学校学校運営協議会会長	副委員長
6	田中 道太郎	保護者	塩田小学校 P T A 会長	
7	大田 敏之	保護者	三輪小学校 P T A 会長	
8	井本 眞明	保護者	岩田小学校 P T A 会長	
9	藤井 伸浩	保護者	束荷小学校 P T A 会長	
10	網本 雅彦	保護者	大和中学校 P T A 会長	
11	吉田 哲朗	教職員	塩田小学校校長	
12	品川 和之	教職員	三輪小学校校長	
13	磯部 祥生	教職員	岩田小学校校長	
14	福田 康子	教職員	束荷小学校校長	
15	河本 政之	教職員	大和中学校校長	
16	來戸 歳文	地域	大和コミュニティ協議会会長	
17	弘田 之文	地域	束荷コミュニティ協議会会長	
18	林 徳人	地域	塩田コミュニティ協議会会長	
19	小澤 寿司	社会教育	地域学校協働活動推進員	
20	宮尾 智義	学識経験者	前やまと学園地域協育ネット会長	委員長

選定基準	①岩田小学校	②大和中学校	③大和総合運動公園
安全・安心	安全・安心な場所(ハザード)災害に強い	安全・安心な場所(ハザード)災害に強い 見通しがよい	避難所として利用できる
広さ		周りの土地を広げられる可能性 周りに土地がある	敷地面積が広い・きれい いろいろな活動ができる広さがある 駐車場が広くとれる バス転回OK
通学・交通	通学効率がよい 通学路の安全(歩道の確保) 駅に近い アクセス、交通、区域外	通学手段に問題なし バスがある	通学効率がよい 駅に近い
集まりやすさ 大和の中央	公共施設、生活の中央	大和地区の中心、中心地・6km以内 通学距離が同じくらい、バランス〇、公平	中心地 大和地域の生活圏の中央 集まりやすい(交通面でも)
環境	静かな場所・周りが静か 日当たりがよい 交通量が少ない	静かな場所 日当たりがよい 交通量が少ない	日当たりがよい・明るい(日照) 高台(水はけがよい)
学習活動	地域学習の場所に近い 校外学習・町たんけん◎ 公の施設に近い		伊藤公記念館へ最も近い 建設中の学びの保障
地域・交流	地域住民との関わり 駅、店、コミセン、交番が近い 企業、店の位置 生活圏がフラット 近所とのトラブルなし		交流ができる・地域住民が多い 人(地域・地域外)が集まりやすい 共用の利点(コミスク的な) 地域と施設共有 病院が近い
自然	自然がある、山がある	川がある、山がある、自然 田んぼに囲まれている 石城山に近い・行きやすい	
施設・設備	既存施設を利用できる プールがある グラウンド〇 グラウンドはまあまあ広い	既存施設を利用できる 武道場がある プールがある グラウンドが広い グラウンドの形、広さ 増設しやすい	施設が新しい 新校舎・プールが作れる 体育館が広い・ホールにもなる アリーナ・柔剣道場にエアコンがある グラウンドが広い クラブチーム化にも対応 ナイター設備がある 道路、駐車場が整備されている ミニ公園があるので、幼保が作れそう 形〇 大きな和の形
その他	スポーツ公園に近い スポセンとつながるかも		独自性のある学校が作れる ロードレースが校内で開催できる 予算低 開放感がある 4小1中、みな平等

第1回学校運営部会のまとめ「学校運営上の懸念事項・課題等」

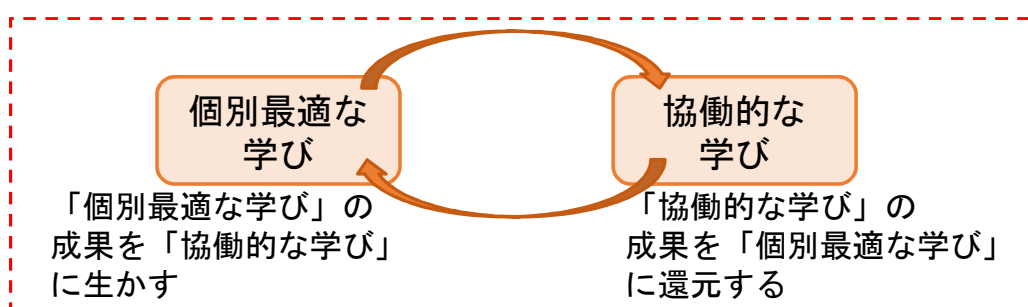
資料3

選定基準	①岩田小学校	②大和中学校	③大和総合運動公園
現況	 <p>敷地面積 21,532 m² グラウンド 10,315 m²</p>	 <p>敷地面積 21,215 m² グラウンド 13,759 m²</p>	 <p>敷地面積 140,000 m² グラウンド 24,000 m²</p>
安全・安心	<p>● 通学路の安全確保</p> <p>● 大和大桥付近の交通量</p> <p>● 建設中のプレハブ校舎はかわいそう</p> <p>● 通学路の安全に対応できるか</p> <p>● 道路整備</p>	<p>● 通学路</p> <p>● 川向こうの山の安全性</p>	<p>● ハザード</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 擁壁があっても子どもが危ない ● 建物立地場所の安全性 ● 周りの見通しが悪い ● 不特定多数の利用 ● 不特定の利用者（夜間） ● そもそも学校ではない ● 部外者の進入を管理するのが難しい ● 不特定多数の人をどう仕分けるか ● 公園利用者との施設共用の難しさ ● 不審者等の対応が難しい ● 乱入、盗撮 ● 大きい大会が開かれる ● CSルーム、民間事業者や商業施設の設置 <p>● 囲いを作る</p> <p>● I Dカードでの利用</p> <p>● 行動範囲を分ける</p> <p>● 不特定の利用者をメリットと考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多くの目がある ● 多様化社会を自分らしく生き抜く力
通学・交通	<p>● 総合運動公園なら簡単（※建設中の対応）</p> <p>● 自転車通学の安全性確保</p>	<p>● 他地域から来る時に不便</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岩田駅から遠い ● スクールバスの台数が多い ● スクールバスの時間差出発（低学年と中・高学年）に対応できるのか ● 小学生の足の確保 	<p>● 通学路の危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通学するのに危険箇所が多い ● 6 k m以上（朝夕混雑、部活動） ● 保護者の送迎増加 <p>● 通学路の整備（旧役場につながる道）</p>
施設・設備	<p>● 土地の確保が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学生と小学生の運動機会を考えると一定の広さが必要 ● 土地の拡張はできるか ● 施設が古い ● 校舎、体育館が古い ● 体育館がシロアリでいっぱい ● 特別教室が狭い ● プールが小学校仕様 ● 駐車場の確保 <p>● 体育館の広さは小中全員が収容できるのか</p> <p>● プールの深さは小1と中3で同じでよいものなのか</p> <p>● 建設中の騒音・振動による学習への影響（プレハブ?）</p> <p>● グラウンドの広さ</p> <p>● 新校舎を建てる</p> <p>● 建設中は三輪小へ通う</p>	<p>● 土地の確保できるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 敷地の確保 ● 校舎が古い、老朽化している ● 今の校舎をどう生かすのか ● 外廊下は大丈夫か <p>● バス機能を充実させる</p>	<p>● 施設の共有方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般の利用者との使い分け（施設） ● 学校の自由な使用は不可能か ● 共有部分を誰が仕分けるか ● 学校部分と公園部分を仕分けられるか ● 公園利用者との兼ね合い ● 学習中の地域利用 ● 地域との共有、ほとんどが共有部分 ● プールの新設場所 <p>● 平日は優先して学校が使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調整してくれる人 ● 共有の体育館にする ● 駐車場に校舎を建てて公園部分と区別する <p>● 広すぎると環境維持が難しい（掃除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法改正にかかる時間 ● 一般の利用者の理解が得られるか
その他	<p>● 近隣住民とのトラブル</p> <p>● 騒音に対する苦情</p> <p>● 施設が利用可能か</p>		

協働的な学びの確保 ～小学校の再編について～

1 光市が目指す学校について

- ①連携・協働を基盤とした学校
 - 地域とともにある学校づくりの更なる進化
 - 小中連携教育から小中一貫教育へ
- ②子どもたちの「学び」を第一義においた学校
 - 連携と協働を基盤とした指導体制の確立
 - 「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の一体的な推進



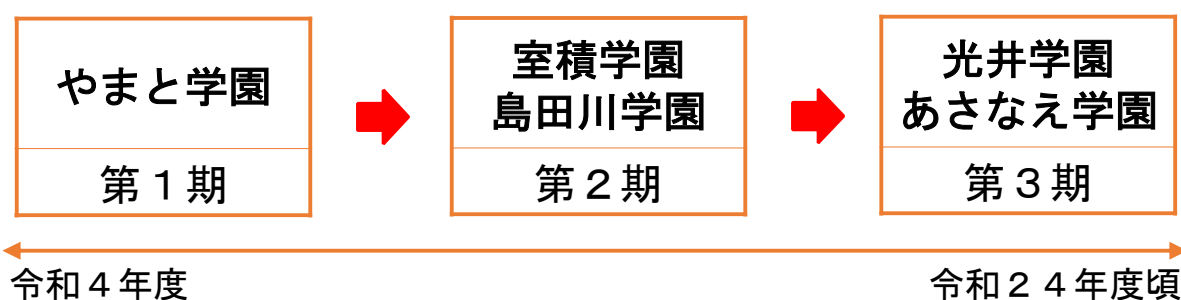
2 小学校の再編について

【施設一体型小中一貫ひかり学園の 新設に係る方針（令和4年3月）】

～具体的な方針の1つとして～

■複式学級が存在する学園については、学園の実情を踏まえ、早期の解消を目指します。

〈おおむねの整備スケジュール〉



2 小学校の再編について

【大和地域4小学校の児童・学級数】

（単位：人、クラス）

学年	岩田小		三輪小		塩田小		束荷小		計
1年	20	(1)	7	(1)	1	(1)	4	(1)	32
2年	13	(1)	13	(1)	1		3		30
3年	11	(1)	18	(1)	3	(1)	2	(1)	34
4年	21	(1)	13	(1)	2		3		39
5年	25	(1)	18	(1)	6	(1)	2	(1)	51
6年	17	(1)	24	(1)	2		3		46
計	107	(6)	93	(6)	15	(3)	17	(3)	232

2 小学校の再編について

